
いたるところにいたわたしとおまえ

まちのしじん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

いたるところにいたわたしとおまえ

【Nコード】

N6484S

【作者名】

まちのしじん

【あらすじ】

謝罪の気持ちは伝わるのでしょうか。
それすら悪なのでしょうか。

理由もなく、種類もなく、ただ、そこで会った人に言った。
ありがとうございます。ありがとうございます。ありがとうございます。
ゆっくりお休みくださいまし。

お休みになられてから、本当の事をお話するでしょう。

本当はまだ安心して眠れる世の中では無いこと、

恩返しすることも、したいと思う事さえも、

許されないのです。

ごめんなさい。ごめんなさい。

あなたを認めることや、褒め称えること、

嫌がった人も、そこから生まれおちた者たちさえ、

許せないようになってしまったのです。

求めるものが違ってしまった。

欲しがる人が大きく強くなってしまった。

これは、わたしのせい。

これはたぶん僕のせい。

世の中をつくった。始まったときにはじまりを一番最初にわかった
人。

その方向は定まってから怒りに満ちた。

満ち足りて、重すぎて落ちた。

それはおそらく世の中のせい？

それはきつと政治や法律やジャケットの背中のカッコよさかもしれ
ない。

だれも決められないから。

でも一度は本当に本気でごめんなさいを言っておいてください。

ごめんなさい。ごめんなさい。

それはたぶんおまえのせいだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6484s/>

いたるところにいたわたしとおまえ

2011年10月9日00時26分発行